# ワイヤレス チャイムセット　取扱説明書

## 安全上のご注意　必ずお守りください。

製品および取扱説明書には、重要な内容の記載があります。それは、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくためです。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みいただき、記載事項を必ずお守りください。

□図記号の説明

- ⚠警告　「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
- ⚠注意　「損害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

□表示の説明

- 🛇 してはいけない「禁止」内容です。
- ❗ 必ず実行していただく内容です。

### ⚠警告

| | |
|---|---|
| 禁止 | **●本製品は防水仕様ではないため、風呂場など、水気の多い場所で使用しない。**<br>火災・感電・故障の原因となります。 |
| 分解禁止 | **●絶対に分解、改造、修理はしない。**<br>故障・発火・感電・けがの原因となります。 |
| 守る | **●幼児の手の届かないところに保管する。** |

| | |
|---|---|
| 禁止 | **●本製品を水につけたり、かけたりしない。**<br>ショート・火災・感電の原因となります。<br>**●不安定な場所で使用しない。**<br>落下してけがや破損の原因となります。<br>**●コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、AC100V以外での使用はしない。**<br>たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。<br>**●電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む。**<br>差し込みが不完全な場合、感電や火災の原因となります。<br>**●電源プラグを破損するようなことはしない。（傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せるなど）**<br>傷んだまま使用すると、感電、火災、故障の原因となります。<br>**●電源プラグのほこりは定期的に拭き取る。**<br>ほこりがたまると、感電や火災の原因となります。電源プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。<br>**●心臓用ペースメーカーを使用している方や、使用している方が近くにいる場合、及び特殊な医療機器付近では送信機を1m以上離して使用する。**<br>医療機器の作動に影響を与えるおそれがあります。 |

### ⚠注意

| | |
|---|---|
| 禁止 | **●熱器具や火気のそばで使用しない。**<br>本体が変形し、火災、感電、故障の原因となります。<br>**●両面テープは塗装面、凹凸面、ザラザラした面などのはがれやすい場所で使用しない。**<br>落下によるけがや本体の破損の原因となります。 |
| 守る | **●お子様がご使用になる場合はお子様がいたずらをしたり、他人に危害を及ぼさないよう十分に指導する。** |

### 電池を安全にお使いいただくために

**電池の使い方を誤ると電池が液もれをおこし、発熱や破裂したり、けがや各機器の故障の原因となるので以下を必ず守ってください。**

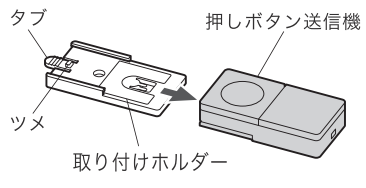
- ●電池の液が目に入ったときは失明などのおそれがあるので、すぐに大量の水道水などのきれいな水で洗い流した後、直ちに医師の治療を受ける。
- ●機器の指示に従って、⊕と⊖を正しく入れる。
- ●電池は充電しない。
- ●電池を使い切ったとき、長期間使用しないときは、機器から取り出しておく。
- ●新しい電池と使用した電池、種類の異なる電池を混ぜて使用しない。
- ●ショートさせたり、分解したり、加熱したり、火に入れたりしない。
- ●電池は乳幼児の手の届かない所に置く。誤って飲み込んだ場合は、すぐ医師へ相談する。
- ●電池の液が皮膚や衣類に付着した場合には、すぐに大量の水道水などで洗い流す。
- ●落下させたり、投げつけたりして強い衝撃を与えない。
- ●電池に直接はんだ付けしない。
- ●電池を廃棄する場合、自治体の条例などの定めがあるときは、その指示に従う。
- ●電池を保管や廃棄する場合は、他の電池や金属製のものと接触しないようにテープなどで端子部を絶縁する。

## 1. 電池の入れ方

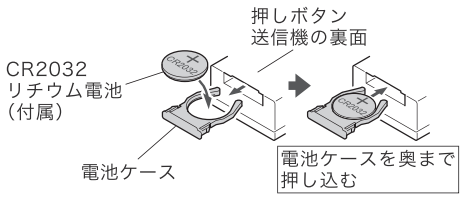
電池交換の際も同様の手順で行います。※呼び出し音が小さくなったり、動作が不安定になってきたら早めの電池交換をお勧めします。

### 押しボタン送信機

①タブを押しながら押しボタン送信機を引き抜きます。



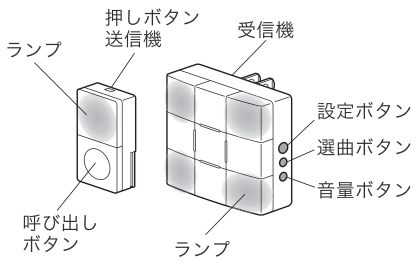

②電池ケースを引き抜き、図のように CR2032 リチウム電池を⊕⊖正しくセットします。
③電池ケースを元通りに取り付けます。




**■電池交換お知らせ機能**

・押しボタン送信機は電池切れが近づくと、ランプが点滅（青色）します。

## 2. 送信機の登録方法




**■登録方法**

①受信機の設定ボタンを５秒以上長押しします。（ID 学習モード スタート）
・５秒後に受信機のランプが４か所同時点滅します。
※約１分以内に手順②と③の操作をしてください。

②受信機の選曲ボタンを押して、呼び出し音を設定します。
・選曲ボタンを押すごとに呼び出し音が切り替わります。
・最後に鳴らした呼び出し音で設定されます。

| | 呼び出し音 |
|---|---|
| 1 | チャイム音（キンコーン×２） |
| 2 | チャイム音（キンコン カンコーン×２） |
| 3 | ノック音 |
| 4 | チャイム音（ピンポーン×２） |
| 5 | チャイム音（ピンポン×２） |
| 6 | 鳩時計の音 |
| 7 | 鐘の音 |
| 8 | チャイム音（ピンポン パンポーン×２） |

③登録する送信機側で以下の操作をします。送信機の種類により操作方法が異なります。

・押しボタン送信機 ・・・・・・・・・・・・ 呼び出しボタンを押す
・人感センサー送信機 ・・・・・・・・・・・ スイッチを ON にする
・音センサー送信機 ・・・・・・・・・・・・ スイッチをLOW/HIG にする
・扉センサー送信機 ・・・・・・・・・・・・ マグネットを離す

※音センサー送信機：使用環境に合わせて感度レベルを調整してください。
・受信機が反応しないときは、スイッチを HIG にして感度レベルを上げてください。
・受信機が反応しすぎるときは、スイッチを LOW にして感度レベルを下げてください。

④「ID 学習モード スタート」から約１分後に受信機のランプが４か所同時点滅します。（登録完了）

## 3. 音量の設定

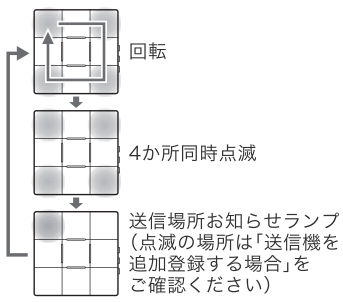
受信機の音量ボタンを押すごとに音量が切り替わります。
・最後に鳴らした音量で設定されます。
・登録されている送信機の個別の設定はできません。

音量

ミュート（消音） → 4（大） → 3 → 2 → 1（小）

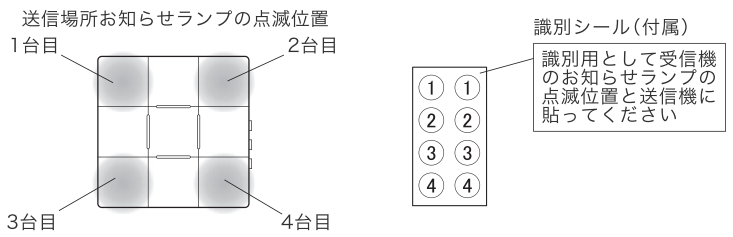
## 4. フラッシュ パターンの切り替えかた

受信機の設定ボタンを押すごとにフラッシュ パターンが切り替わります。
・最後に光らせたフラッシュ パターンで設定されます。




**■送信機を追加登録する場合**

「登録方法」の手順①から操作してください。
・受信機１台に対して送信機は４台まで登録できます。
・呼び出し音は送信機ごとに設定できます。
・４台の送信場所に対応したランプ（送信場所お知らせランプ）が点灯しますので、どこから送信されたかがわかります。
※正しく登録できなかった場合は、「登録の消去」をしてから再度１台ずつ登録をしてください。




**■登録の消去**

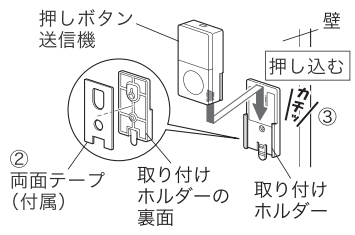
複数の送信機が登録されている場合、１台ずつ個別に消去することはできません。
すべての登録が消去されます。
①受信機をコンセントから外します。
②受信機の設定ボタンを押しながら、コンセントに元通りに取り付け、５秒以上長押しします。

## 5. 設置方法

### 押しボタン送信機

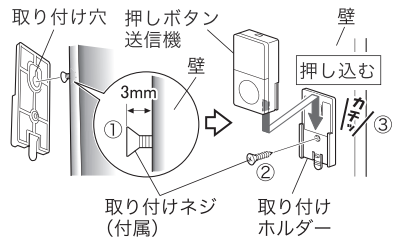
**■両面テープ（付属）で壁に取り付ける場合**

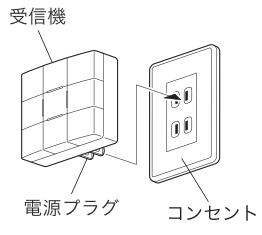
①貼り付ける部分の水分、ほこりや汚れなどをきれいに拭き取ります。
②両面テープで取り付けホルダーを壁に貼り付けます。
③押しボタン送信機をカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。




**■取り付けネジ（付属）で壁に取り付ける場合**

①取り付ける壁に取り付けネジを固定します。
②取り付けホルダーの取り付け穴を引っ掛け、取り付けネジで固定します。
③押しボタン送信機をカチッと音がするまで押し込んで取り付けます。




### 受信機

電源プラグをコンセントに接続します。